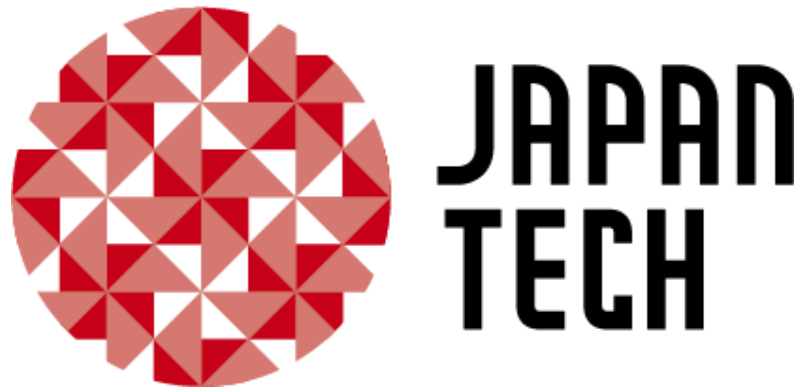
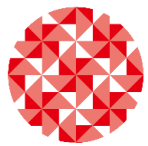


CES 2018 日本企業共同出展ブース JAPAN TECH のご案内



〈コンペ出展枠〉



CESの概要

CESとは

**世界中から最新の技術が集結！
米国ネバタ州ラスベガスで毎年1月開催。**

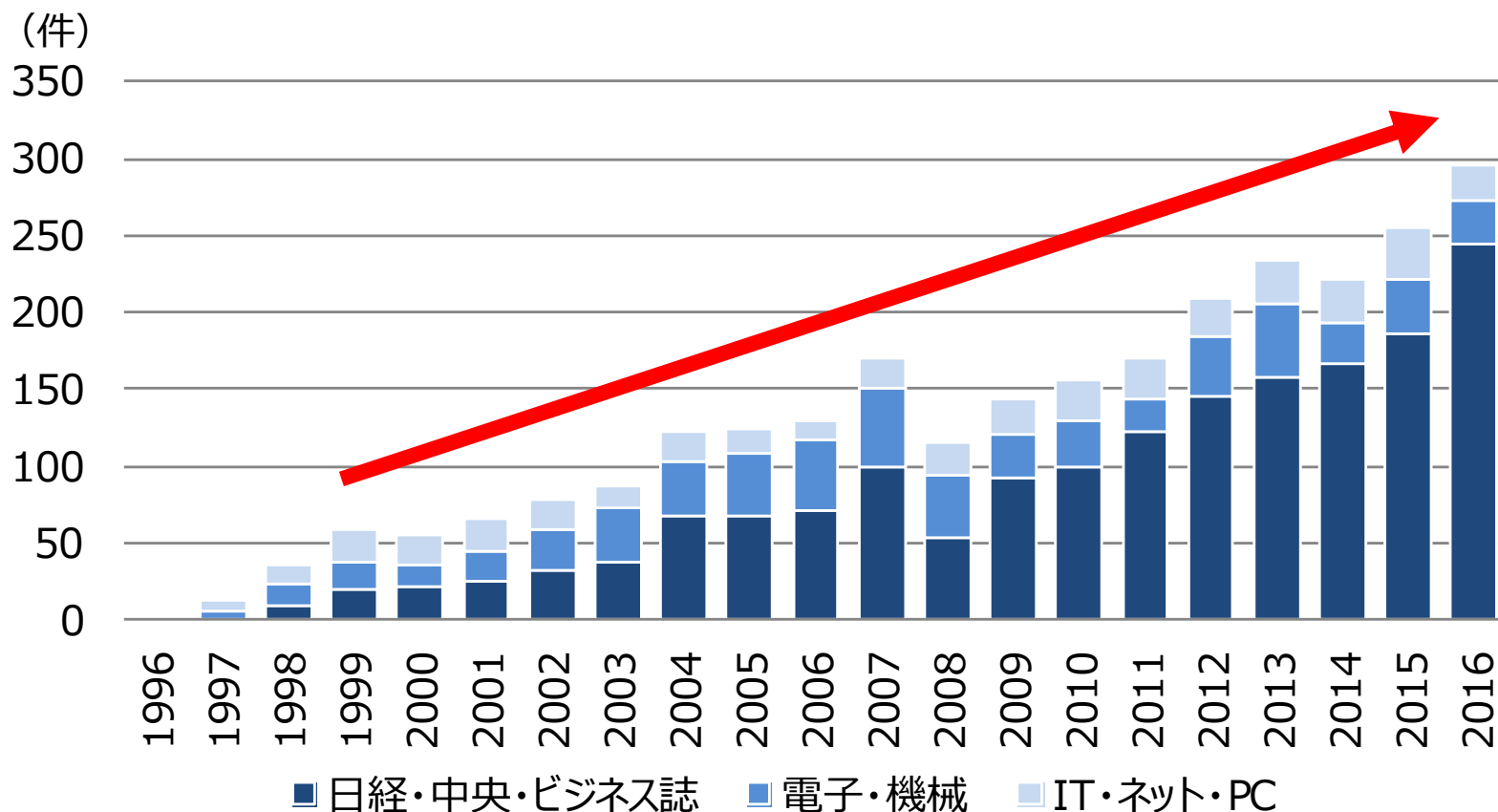


CES（旧：Consumer Electronics Show※1）は、毎年1月、アメリカ、ネバタ州ラスベガスで開催される、最新のテクノロジーが集結する世界最大規模の展示会です。1967年に家電製品の見本市としてスタートして以来、2017年に50周年を迎えたCESは、数々の革新的な新製品を世界中へ発信してきました。当初は、テレビやビデオ、AV（音響・映像）機器を中心とした企業が最先端技術を競っていましたが、近年、テクノロジーの急速な進化によって業界の垣根がなくなりつつあることから、自動車産業をはじめとする多様な産業分野での最先端テクノロジーの発表の場となっています。それらの技術は確実に近い将来我々の生活やビジネスに深く関連するものが多く、メディアの扱いも毎年大きくなっています。もはや、CESで発表されるテクノロジーと無縁な業界はないと言ってよいほど、その規模と影響力は拡大の一途にあります。

※CESは、「Consumer Electronic Show」という名前の由来からもわかるように、当初は家電分野を対象としていましたが、展示規模や領域の拡大に合わせて、略称のCESを正式ブランドとしている。主催者団体の名称も2015年に米家電協会（CEA: Consumer Electronics Association）から米民生技術協会（CTA: Consumer Technology Association）に変更。

CESに対する国内での注目度

国内でもCESを取り上げる記事は増加傾向。
注目が高まっています。



出展：日経テレコン

CES 2017の実績

CES2017 参加実績

(出典：CES公式サイト「Attendance Audit Summary」)

<http://www.ces.tech/CES/media/pdfs/CES-Audit.pdf>を加工・編集)

	全体	米国	米国以外の海外	その他
参加者	109,498	72,290	36,672	536
出展者	67,321	46,148	20,999	174
メディア	7,460	4,856	2,548	56
参加総数	184,279	123,294	60,219	766

エリア別参加実績

	参加数	%
北アメリカ	129,996	70.5%
南アメリカ	1,467	0.8%
ヨーロッパ	16,126	8.8%
中東/アジア	34,688	18.8%
オセアニア	922	0.5%
アフリカ	297	0.2%
その他	783	0.4%
参加総数	184,279	100.0%

米国以外の参加数
60,219
32%

日本の参加数
4,680

CES 2017の実績

(出典：CES公式サイト「Attendance Audit Summary」
<http://www.ces.tech/CES/media/pdfs/CES-Audit.pdf>を加工・編集)

カテゴリ別出展プロダクトTOP20

	出展数
コンピュータハードウェア&ソフトウェア	17,440
ワイヤレスデバイス	15,676
周辺機器	15,283
自動車用電気機器/自動車技術	14,570
スマートホーム/電化製品/エネルギーマネジメント	13,598
その他	12,161
オーディオ機器	12,106
ウェアラブル	12,059
テレコミュニケーション/インフラ	10,049
ビデオ	9,862
デジタルメディア/オンラインメディア	9,154
モバイルアプリ	9,059
eコマース	8,965
ハイエンド（高級）オーディオ機器/ハイレゾ	7,692
AR/VR	7,589
ヘルス&バイオテクノロジー	7,553
センサー	6,742
ゲーム	6,606
ドローン	6,549
3Dプリンタ	5,952

CES 2017の実績

【日本からの参加企業】

(出典：JAPAN TECH project調べ)

Featured Exhibitors

Mitsufuji Corporation
Sumitomo Electric

Exhibitors

adlib ltd.
Alps Electric Co., Ltd.
Beat - Sonic Co., Ltd.
Bonsai Lab
Ceatec Japan
Cerevo USA LLC
C's Lab Co., Ltd.
GILD design Co., Ltd.
Gourmandise Inc.
Hirose Electric Co., Ltd.
Moff Inc.

Moxbii Co., Ltd.
N.GeN Corporation
Nidec Corporation
Nissan
Planex Communications Inc.
QD Laser, Inc.
Ricoh Co, Ltd.
Shibaful
TAIYO YUDEN Co., Ltd.
The University of Tokyo
Westunitis
Xenoma Inc.
Zanden Audio Systems Ltd.
Seven dreamers

※グローバル企業は米国現地法人から出展しているケースが多い。

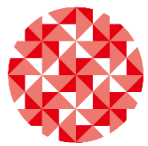
CES 2017 メディア露出

(出典：CES公式サイト「Attendance Audit Summary」
<http://www.ces.tech/CES/media/pdfs/CES-Audit.pdf>を加工・編集)

TV、新聞、雑誌、ネットニュースなどで 総計約 6 万件のメディア露出

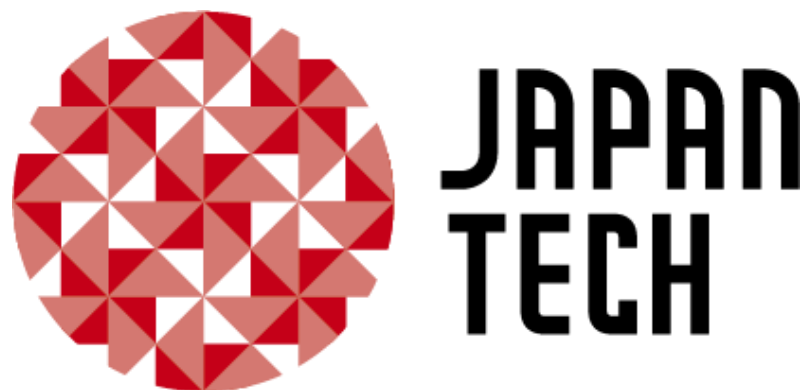
■メディア露出	露出件数	%
印刷媒体（新聞・雑誌）	12,271	20.5%
放送（テレビ・ラジオ）	14,561	24.3%
オンライン	33,137	55.3%
全媒体	59,969	100.0%

■ソーシャルメディアリーチ	露出	単位
ソーシャルメディアでのCESについての書き込み（#CES2017、@CES）	998,779	件
Snapchat Live Storyの閲覧	133.9 million	view
TwitterのCESの公式動画の再生	4.3 million	view
CES公式ハッシュタグ #CES2017 を含むCESでのInstagram上の 画像シェア	39,000	件（画像数）



JAPAN TECH プロジェクトの概要

JAPAN TECH project とは



「日本の技術力を世界に届けたい」

「テクノロジーの未来を担う日本企業が生まれてほしい」

という想いをもちた企業が集結し、プロジェクトがスタートしました。

JAPAN TECH PROJECTを通して、一つでも多くの日本企業が、グローバル舞台に立って日本の革新的な技術を発信し、同時に、世界における最新トレンドを五感で感じ、さらに、新しいビジネスパートナーとの出会いにつなげて頂きたい、という願いを込めて企画が進められました。本プロジェクトが、企業の海外進出の後押しとなり、それが、“JAPAN”ブランドの再活性化に、また、未来の日本のテクノロジーのさらなる発展につながることをめざしています。

JAPAN TECH project の目的

一歩を踏み出せずにいた企業が、気軽に海外出展にチャレンジできる機会を提供
= JAPAN TECHの出展が世界への登竜門に！



- 1) 日本ならではの発想や革新的なテクノロジーの発信
- 2) 世界の最新トレンドや競合動向の体感
- 3) 世界各国の企業との新しいビジネスマッチングの創出

これらの3つの体験を通し、より多くの企業に「勇気」「自信」「挑戦心」をもってグローバル舞台に立つて頂くことで、未来のテクノロジーを生み出す日本の力を育て“JAPAN”ブランドづくりに貢献していくことをめざします。

JAPAN TECH project のコンセプト

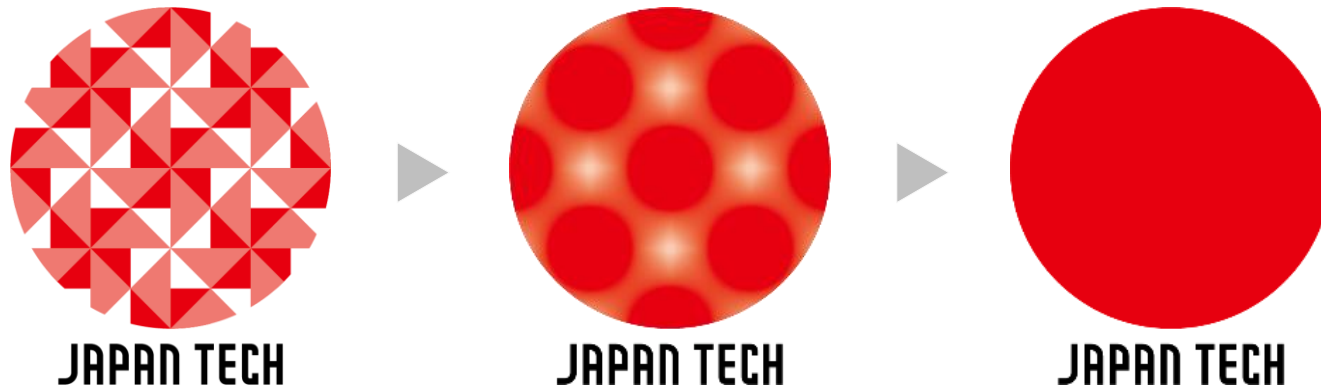
**魅せる
感じる
生み出す**

：日本の革新的な技術で世界を魅了し、

：世界に飛び出し、五感でグローバルマーケットの“いま”を感じ、

：新しいビジネスパートナーと出会い、関係性を生み出す

JAPAN TECH project のロゴ



JAPAN TECH ロゴは「風車」をモチーフとしています。
CESに出展した日本企業が、世界の風を感じて回り始め
その力で自らも回り、世界に対して新しい風を送りこむ
自立した存在になってほしいという思いを込めています。
風車の連続は共同によって生まれる力があることを示し、
モーションで風車が回ったり、色合いを様々に変えたりと
ひとつの型に捉われない有機性・柔軟性を表現しています

JAPAN TECH プロジェクト推進チーム

CES主催者



CREATIVE VISION
ONE STEP, BORDERLESS SOLUTION

CES公認エージェンシー
出展やイベントの企画・運営

DAIKO

プロジェクトの企画・推進やブランディング
出展者のコミュニケーションの支援



ハードウェアスタートアップ企業が
CESを通じて世界に羽ばたくためのサポート



JAPAN TECHのご紹介

JAPAN TECH の魅力

CES史上初!! 「日本」を冠した企業共同出展ブースが登場!



※パネル等の壁面掲出、米国ならではのデザイン等については、ぜひご相談ください。

CES公認の
“JAPAN”
共同出展
ゾーン

今からでも
CESに
出展が
可能!

商談、ネット
ワーキングま
で実現可能

リーズ
ナブルな
出展
パッケージ

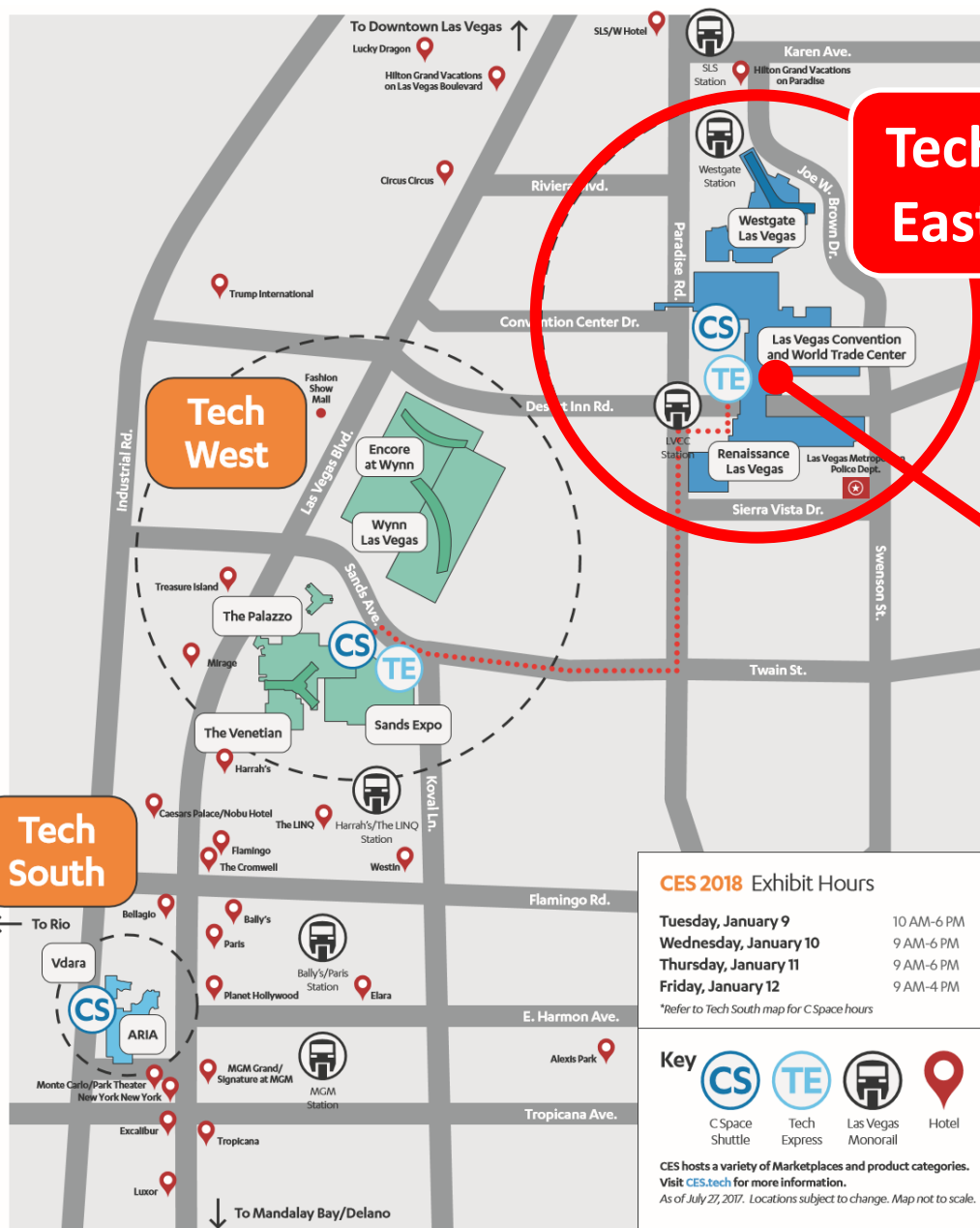
米国出展
実績多数の
プロが
サポート

共同出展
ならではの
存在感を
発揮

次年度の
単独出展の
交渉
サポートも!

JAPAN TECH 出展場所

CESには、3つの会場があり、中でも集客力があるTech East内のラスベガス・コンベンションセンターに出展できます。



ラスベガス・コンベンションセンター

CES 2018 Exhibit Hours

Tuesday, January 9	10 AM-6 PM
Wednesday, January 10	9 AM-6 PM
Thursday, January 11	9 AM-6 PM
Friday, January 12	9 AM-4 PM

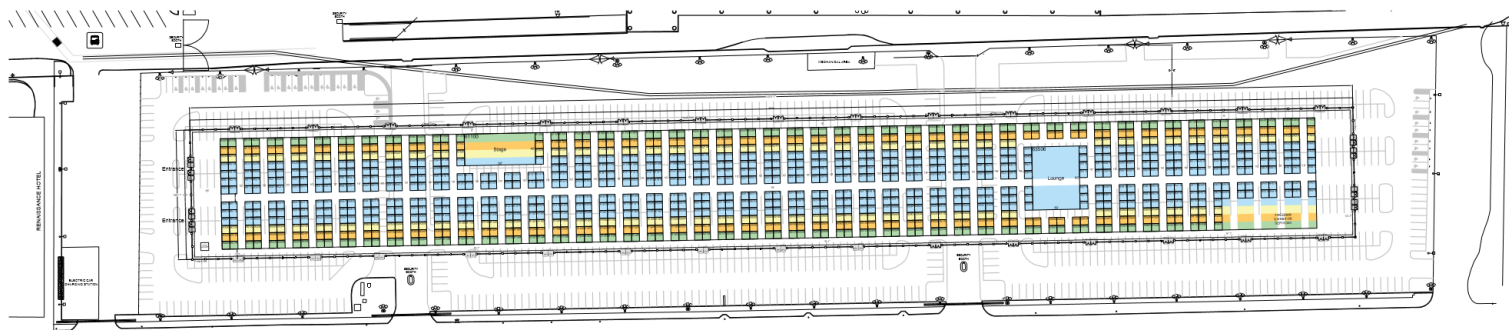
**Refer to Tech South map for C.Space hours*

Key	CS	TE	Las Vegas Monorail	Hotel
	C Space Shuttle	Tech Express	Las Vegas Monorail	Hotel

CES hosts a variety of Marketplaces and product categories. Visit CES.tech for more information. As of July 27, 2017. Locations subject to change. Map not to scale.

JAPAN TECH 出展場所

**CES2018からラスベガスコンベンションセンターに新設の
サウスプラザ内にある「デザイン&ソース」（旧：グローバルテクノロジー）
各国の最新のテクノロジーが集結し、強力な集客プロモーションを期待できるエリアです！**
※CES出展希望者の増加により新設。



Maximum Ceiling Height Plan
Booth structure and hanging signs may not exceed the maximum height listed below

Green	12' Height (3.65m) Limit
Orange	16' Height (4.87m) Limit
Yellow	18' Height (5.48m) Limit
Blue	20' Height (6.09m) Limit

Note: There is a 250 lbs. limit on hanging sign. Exhibitors must submit the hanging sign for approval.



CES18 Design & Source (Bronze Lot)

CES18 Design & Source DESCR
July 23, 2017 10:59 AM

p.1



2D Designer: Rachel Kutos
3D Designer: Greg Brown

File Location: P:\Dallas\Corp\Design\Jobs\2018\CTA_CES_2018_00020407

FREEMAN

JAPAN TECH が提供する 3つのサービス

POINT!

1

今からでもCESに出展できる！

JAPAN TECH共同出展

POINT!

2

新たな出会いとビジネスが生まれる！

商談 & ネットワーキング

POINT!

3

国内外でプレゼンスが高まる！

PR・コミュニケーション

JAPAN TECH が提供する 3つのサービス



こちらはイメージです。ブースの大きさやコマ数などには変更が出る可能性があります。

POINT!

1

今からでもCESに出展できる！

JAPAN TECH共同出展

既にほぼ完売のCESに、今からでも審査無しで出展可能。投資家や有望な技術を探す企業で賑わうエリアの一画で存在感を発揮できます！

プレゼンテーションスペース・スケジュール

こちらはイメージです。スケジュールには変更が出る可能性があります。

JAPAN TECH プレゼンテーションステージ タイムシート

1月	9日	10日	11日	12日
9:00		全体説明MC / 午前予定告知	全体説明MC / 午前予定告知	全体説明MC / 午前予定告知
10:00	全体説明MC / 午前予定告知	全体 / スペシャルトーク前説	出展社 ⑦	出展社 ⑥
11:00	出展社 ①	出展社 ⑫	出展社 ⑧	出展社 ⑦
	出展社 ②	出展社 ⑬	出展社 ⑨	出展社 ⑧
	出展社 ③	出展社 ⑭	出展社 ⑫	出展社 ⑨
12:00	出展社 ④	スペシャルトーク	出展社 ⑬	出展社 ⑩
		出展社 ⑮	出展社 ⑤	
13:00		出展社 ①		全体説明MC / 最終締め告知
	全体 / スペシャルトーク前説		全体 / スペシャルトーク前説	出展社 ⑪
14:00	出展社 ⑤	全体説明MC / 以降予定告知	出展社 ②	出展社 ⑫
	出展社 ⑥	出展社 ②	出展社 ③	出展社 ⑬
	出展社 ⑦	出展社 ③	出展社 ④	出展社 ⑭
15:00	スペシャルトーク	出展社 ④	スペシャルトーク	出展社 ⑮
	出展社 ⑧	出展社 ⑤	出展社 ⑩	
16:00	出展社 ⑨	出展社 ⑥	出展社 ⑪	
	出展社 ⑩			
17:00	出展社 ⑪			
18:00				

特Aタイム

JAPAN TECH が提供する 3つのサービス



POINT!

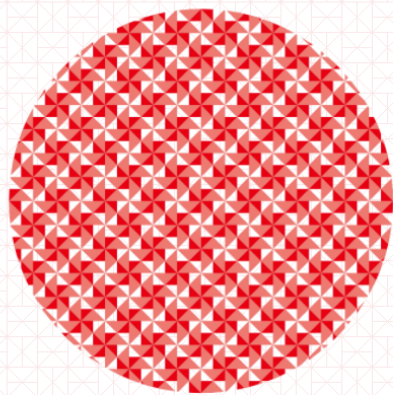
2

新たな出会いとビジネスが生まれる！

商談 & ネットワーキング

投資家や海外企業、プレスと懇親を深められる
ミートアップへの参加、商談スペースや
専用ラウンジの利用などが含まれます！

JAPAN TECH が提供する3つのサービス



JAPAN TECH



CONCEPT

JAPAN TECH project は最先端テクノロジーをもつ日本企業が、世界の舞台CES（旧：Consumers Electronics Show）で発表する。



© 2017.07.26 06:00

フィラメント、2018年度のCESで「JAPAN TECH」
ブースの募集を開始[PR]



毎年1月、ラスベガスで開かれるCESでは、多くの企業がコンシューマ向けのデバイスやサードスの展示を行っている。

POINT!

3

国内外でプレゼンスが高まる！

PR・コミュニケーション

出展のみならず、会期前から会期後まで、JAPAN TECH 公式サイトでリーズナブルにPR・コミュニケーションでき、効果を高められます。

CTA シニアバイスプレジデントからの応援メッセージ

CTA より日本のイノベーターの皆様へ



CESとは コンシューマーテクノロジーのビジネスを通じて、毎年、世界中の出展者、バイヤー、投資家やビジネスリーダー達が一同に集まる場所です。

私達は2018年のCESでCreative Visionが、日本のテクノロジーやイノベーションを一つのテーマの元で、紹介されるという初めての試みをととてもワクワクし、楽しみにしています。

日本が誇るイノベティブなアイデアや技術が世界へ羽ばたく場所、CES2018は皆様をお迎えできることを心から嬉しく思います。

署名

コンシューマー テクノロジー アソシエーション
CES & コーポレートビジネスストラテジー
シニアバイスプレジデント

カレン・チャプカ



スケジュール

全体スケジュール

7月

募集内容詳細発表 / 説明会開催告知

8月

東京・大阪で説明会実施

10月

各ブース要素決定 / 施工発注

※以後の施工変更はできません

11月

大型のグラフィック関係最終発注

※以後のグラフィック変更はできません。ポスターやリーフレットなど手で運べるグラフィックを除く

12月

施工関係工場出荷

1月

1月6日、7日施工 / 8日製品設置・テスト

9日～12日 CES会期

13日 撤去

- 説明会に参加が出来ない場合、もしくは、ご要望があれば、個別にご説明させていただきます。
- アメリカの施工システムの関係上、日本での制作スケジュールより締め切りが早くなることをご了承願います。
- 施工については、最終発注後の修正・変更は非常に困難となります。ご対応可能な場合においても、3倍以上の作業料が追加で発生することをご了承願います。



スタートアップ向け出展のご案内

スタートアップ向け出展応募フロー

- 説明会参加（8/7 東京, 8/8 大阪）
- 応募フォーム提出（9/7（木） 23:59まで）
<https://goo.gl/forms/v7sGludh7eZufg6M2>
- 事務局による一次審査通過社には二次審査のご案内
- 二次審査は審査員によるビデオでの二次審査（地方と都市部での格差をなくすため、直接のプレゼンの場はなし。ビデオの長さは5分まで）

スタートアップ枠タイムライン

1. 説明会参加：8/7（月）、8/9（水）
2. スタートアップ枠応募締め切り：9/7（木） 23:59
3. 事務局審査会（書類審査）：9/11（月）
4. 一次審査通過通知、二次審査案内：9/11（月）
5. 二次審査（ビデオ審査）応募締め切り：9/22（金） 23:59
6. 二次審査（審査員による個別審査、スコアを事務局に提出）：9/27（水）
7. 二次審査会（全審査員による合同審査）：10/10 - 13頃
8. 二次審査通過通知、出展のご案内送付：10/13頃
9. 入金期限：10/23（月）（二次審査通過通知後1週間以内）

審査

審査員

- Yahoo Japan !CMO村上 臣氏
- 日経BP菊池 隆裕氏
- シャープ景井 美帆氏
- 大広CTO大地 伸和氏

審査員

審査員

村上 臣氏

ヤフー株式会社

執行役員 CMO

(チーフ・モバイル・オフィサー)



在学中に仲間とともにベンチャー企業、有限会社
電脳隊を設立。

2000年8月に株式会社ピー・アイ・エムとヤフー株
式会社の合併に伴いヤフー株式会社に入社し、
「Yahoo!モバイル」の開発に従事。

ソフトバンク株式会社によるVodafone Japan買収
に伴い「Yahoo!ケータイ」やフィーチャーフォン端
末の開発なども担当。

インターネットと携帯通信事業の双方に関わりな
がら、近年はY!mobile事業の立ち上げ、IoTサー
ビス「myThings」や自社のアプリ戦略の推進に注
力している。

近年のCESには毎年訪れており、ベンチャーキャ
ピタルであるYJキャピタルのパートナーでもあるこ
とから、投資家としての視点も持ち合わせながら
多様な分野の展示に注目している。

審査員

審査員

菊池 隆裕氏

日経BP総研

イノベーションICT研究所

上席研究員



日経BP入社後、「日経メカニカル」「日経コミュニケーション」「日経エレクトロニクス」「日経コンピュータ」などで、主に通信、ネット分野を担当。2002年～2004年までシリコンバレー支局勤務。スマートフォンの台頭にあわせ各種の勉強会の開催を経て、「日本の開発者の活躍の場を増やす」を旗印に、アプリ開発コンテスト「Android Application Award (A3＝エーキューブ)」「Multi-Device UX Competition」を立ち上げる。最近は、スタートアップ企業を積極的に取材する。2013年10月から日経BPイノベーションICT研究所 主任研究員。2015年、経済産業省主催のイノベーター育成プログラム『始動 Next Innovator 2015』に選抜。同年「Lean Launchpad Educators Program」修了。2016年4月から上席研究員。

CESには2010年から8年連続参加しており、執筆記事多数。近年のCESの変化と影響力をメディアの視点から熟知している。注目分野は、スタートアップ企業全般とヒトのセンシング。

審査員

審査員

景井 美帆氏

シャープ株式会社

IoT通信事業本部

コミュニケーションロボット事業部

商品企画部 課長



2001年シャープ株式会社入社。

入社以来、携帯電話の商品企画に携わり、2013年5月よりロボホンの商品企画を開始。

現在は、ロボホンをはじめとしたコミュニケーションロボット事業の商品企画・事業企画に携わる。

過去に携わった製品開発のプロジェクトにおいて、CESという場を効果的に活用することでパートナー開拓を行い、その後の開発や販売のフェーズを強力に推し進めた経験を有している。

審査員

審査員

大地 伸和氏

株式会社 大広

執行役員 CTO

(チーフ・テクノロジー・オフィサー)



株式会社 大広に1990年入社。

大広のCTO(Chief Technology Officer)。
広告業界で、いち早くデジタルテクノロジーに注目。
アドテクだけでなく、あらゆるテクノロジー領域を応
用したサービス開発を推進。

CESをはじめ、ミラノ・サローネ、メゾン・ド・オブジェ、
アルスエレクトロニカなど、テクノロジーに関連する
世界中の見本市やフェスティバルを数多く視察し、
新たなビジネス創出に挑み続ける。デジタル・テク
ノロジー業界のさまざまな著名人とも親交が深い。

JAPAN TECH projectの大広における総責任者であ
り、出展企業の国内外でのコミュニケーションの成
功を願い、同プロジェクトの企画・推進を総合的に
監督。市場性や話題性に加え、幅広い業種・業界
の企業と協業してきたノウハウを活かし、多角的
な視点をもって未来のテクノロジーを担う企業を発
掘していきたいと考えている。

スタートアップ向け出展応募フロー

- 説明会参加（8/7 東京, 8/8 大阪）
- 応募フォーム提出（9/7（木） 23:59まで）
<https://goo.gl/forms/v7sGludh7eZufg6M2>
- 事務局による一次審査通過社には二次審査のご案内
- 二次審査は審査員によるビデオでの二次審査（地方と都市部での格差をなくすため、直接のプレゼンの場はなし。ビデオの長さは5分まで）
- **審査基準：**
話題性、先進性、市場性、プロダクト完成度など



費用

費用に関しては、JAPAN TECH 運営事務局までお気軽にお問い合わせください。（お問い合わせ先は次のページ）

出展のお申し込み&お問い合わせ先

お問い合わせ先：

info@ces-japantech.jp

出展のお申込み：

<https://ces-japantech.jp/exhibit/>